

2019 年度（令和元年度）常磐大学教員免許状更新講習 【選択領域】 授業概要

11 月 23 日(土) 【選択領域 1 日目】		
時間	担当者	内容
9:00-12:15	福田洋子	幼稚園教育の現状と展望 I
12:15-13:15		昼食休憩
13:15-16:30	佐藤賢一郎	幼稚園教育の現状と展望 II

11 月 30 日(土) 【選択領域 2 日目】						
第 1 グループ			第 2 グループ			
時間	担当者	内容	時間	担当者	内容	
9:00-12:15	室谷直子	障害のある子どもの支援	9:00-12:15	岡部玲子	子どもの音楽遊び教材研究	} 選択
				渡邊洋子	子どもと言葉教材研究	
12:15-13:15		昼食休憩	12:15-13:15		昼食休憩	
13:15-16:30	岡部玲子	子どもの音楽遊び教材研究	13:15-16:30	室谷直子	障害のある子どもの支援	} 選択
	渡邊洋子	子どもと言葉教材研究				

「子どもの音楽遊び教材研究」、「子どもと言葉教材研究」は、いずれか 1 科目の選択となります。

12 月 1 日(日) 【選択領域 3 日目】						
第 1 グループ			第 2 グループ			
時間	担当者	内容	時間	担当者	内容	
9:00-12:15	大高 皇	野外の活動	9:00-12:15	紙透雅子	子どもの運動遊び教材研究	} 選択
	依田 泉			村上八千世	協同性を活かした学びのデザイン	
12:15-13:15		昼食休憩	12:15-13:15		昼食休憩	
13:15-16:30	紙透雅子	子どもの運動遊び教材研究	13:15-16:30	大高 皇	野外の活動	} 選択
	村上八千世	協同性を活かした学びのデザイン		依田 泉		

「子どもの運動遊び教材研究」、「協同性を活かした学びのデザイン」は、いずれか 1 科目の選択となります。

※ 2・3 日目の選択科目（黄色部分）の定員は、各科目 40 名です。希望者数が定員を超えた場合は抽選を行い、同時間開講のもう一方の科目での受講をお願いすることになります。ご理解とご協力をお願いいたします。

※ 修了試験は、それぞれの授業時間の最後の 10 分間に行います。

※ 各授業時間内に 15 分間の休憩を予定しています。

各授業の概要

◆ 11月23日(土)

幼稚園教育の現状と展望Ⅰ [担当：福田 洋子]

2018年(平成30年)4月から、幼稚園教育要領改訂を踏まえた幼稚園教育が実施され、今年度は2年目となる。今回の改訂のポイントや幼児教育の現状、教員に求められる高い資質等について具体的に事例を通して理解を深めていく。

幼稚園教育の現状と展望Ⅱ [担当：佐藤 賢一郎]

幼児教育の独自性として示されている「環境を通しての教育」「遊びを通しての総合的な指導」について、果たして保育現場ではどこまで実践されているのか。保育の基本的事項(5領域や10の姿)を再考した後、受講者の保育実践を振り返り考察していく。

◆ 11月30日(土)

障害のある子どもの支援 [担当：室谷 直子]

どの子どもも置き去りにしない教育すなわちインクルーシブ教育・保育をどのように実現するのか。そのために必要な特別支援教育の視点を確認した上で、発達障害を中心とした障害児支援の方法について事例に基づき考えを深める。また、障害以外の特別な配慮を要する子どもについても取り上げる。

子どもの音楽遊び教材研究 [担当：岡部 玲子]

幼稚園教育要領等における領域「表現」のねらい・内容を、講義・演習を通して再確認する。前半は手あそびうたを中心に、子どもたちの成長を5領域全てにわたって促すことができる手あそび歌の活動を再考する。後半は園児がリズムに合わせて体を動かす活動の原点を実際に動いて体験し、リトミックへと発展させたい。

子どもと言葉教材研究 [担当：渡邊 洋子]

ことば豊かに表現できる子どもたちを育てるために、また、ことばへの鋭い感性をもつ子どもを育てていくことを目指して講習を行う。「こども詩」を参考にして、ことばへの感性を磨く教材づくりに取り組む実践的な講習である。

いずれか
を選択

◆ 12月1日(日)

野外の活動 [担当：大高 皇・依田 泉]

身近な地域における野外の活動をどのように実施したらよいか、その活動を組み立てるための手法を社会科教育の観点から捉えることを目的とした講習である。前半では、社会科教育の観点から見た野外の活動の価値や理論を習得し、後半では、大学周辺での野外観察を実施し野外での指導のための視座や配慮を体得する。

子どもの運動遊び教材研究 [担当：紙透 雅子]

子どもが活動的な生活習慣を身につけるには、運動遊びを通して、身体を動かす楽しさを十分に味わうことが望まれる。その指導に携わる大人には、子どもの柔軟な発想に学びながら、遊びの発展に手を貸すことが求められる。当セッションでは、自由に運動遊びを作り上げる活動を通し、指導のヒントを掴んでいただきたい。

いずれか
を選択

協同性を活かした学びのデザイン [担当：村上 八千世]

本講座は5歳児を対象とした「運動会の競技」を考え、発表するグループワークである。5歳児が頭で考え、手足を使い、互いに協力し、目的を達成できるような競技のルールをデザインする。前半はかえで幼稚園(広島市)の実際の活動事例を視聴した後、グループでオリジナルの競技を考案し、後半は相互発表と討論を行う。